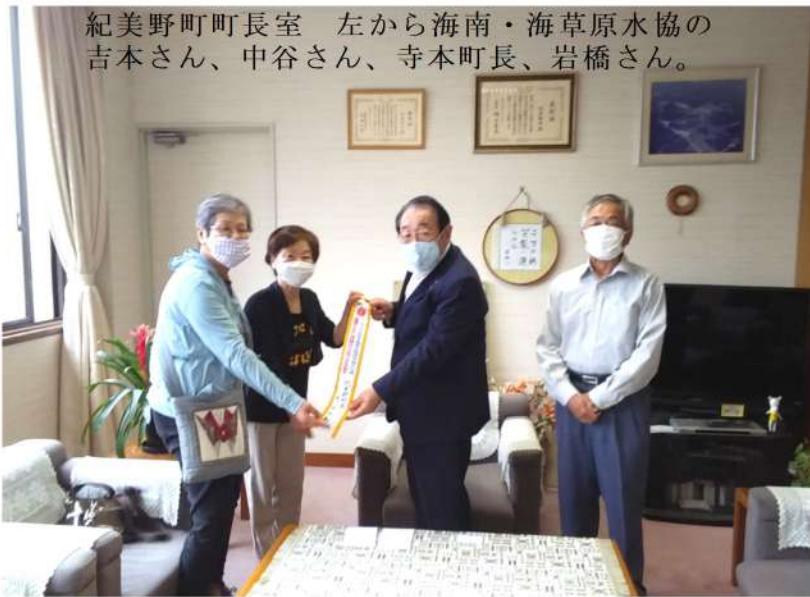


コロナウイルスに立ち向かい核兵器のない公正な世界を



5月15日(金) 国民平和大行進宣伝カーは
紀美野町を午後5時過ぎに走りました。

2020年廢水情勢停止



モニュメント



5月15日(金) 曇りです。平和行進宣伝カーは、紀美野町庁舎を訪れました。

今年4月7日には、非核の政府を求める和歌山県民の会、核戦争防止和歌山県民の会、県原水協の3団体で「核兵器禁止条約に賛同し署名するよう」政府に意見書を提出して下さいと要請を行いました。要請書は、受け取って頂いて議会で審議して頂く事になっています。

午後4時過、地元海南・海草原水協の中谷さん（海草新婦人）、吉本さん（県新婦人）、岩橋さん（海草教組）と合流し、皆で宣伝カーのデコレーションを準備。4時半に町長室を訪問。寺本光嘉町長が私たちを待っていてくれました。ペナントと協賛金を、町長室から地元の中谷さんにお渡し頂きました。その後、短時間、町長と懇談する事ができました。紀美野町では「コロナ対策」として、マスク50枚、現金1万円、地元で使える5千円の商品券を町民へ配布したそうです。小学生の子供たちには、オンライン授業をおこなうため、タブレットの用意をしているとの事。短い時間でしたが地方自治体の役割を実感することができました。寺本町長には、平和行進の出発集会で挨拶と庁舎内行進を歩いていただいています。「ヒバクシャ国際署名」役職署名も16年5月31日にサイン頂きました。最後に、総務課を訪ねて今年も「被爆者募金箱」の設置をお願いしました。平和行進宣伝カーは、非核自治体のモニュメントと役員3人に送り出し頂き、町内へと走り出しました。明日は、有田市を宣伝カーで走ります。県原水協事務局

